



くすのき



No. 23

H27年2月発行

◆講演会「困難を抱える子ども・若者支援の充実を目指して」を実施しました◆

12月3日、東三河セーフティネット副代表理事の金田文子様を講師にお迎えして、講演会を実施しました。おかげさまで100人を越える参加者がありました。その内容の一部を紹介します。

——平成23年1月に豊橋で設立した東三河セーフティネットでは、不登校、非行、発達障がい、ひきこもりなどの本人・家族の支援をしている。

支援は東三河セーフティネットの家族環境支援士が担当しているが、家族環境支援士だけで支援しているわけではなく、官民様々な機関と連携している。他の窓口を紹介するときは、家族環境支援士が相談者に同行したり、担当者に来てもらったりして、相談者の負担を軽減している。

非行少年の事例について。両親に捨てられ養護施設で育った女の子が、施設の定員がいっぱいになったために16歳のときに出されてしまう。寮のある風俗店に就職し、警察に捕まり少年院に送られる…。見かねた先輩が相談に来た事例。生まれたときから悪い子だったわけではなく、与えられた環境の中で精一杯生きてきた結果。一概に本人を責める訳にはいかない。でも、いつか、「もうやめよう、やり直したい」と思うときが来る。そのときまで、気長に支援を続けている。

現在の子ども・若者支援は縦割行政で、年齢制限や地域制限があり取り扱う課題によって様々な窓口がある。縦割行政を批判しているのではなく、専門性を維持するために必要な制度と考えている。しかし、他の窓口を紹介したとき、元気があればそこへ飛び込んでいけるが、元気がなかったり、何度も他の窓口を紹介されたりすると、疲れて溝にはまってしまい、動けなくなることがある。困難を抱える子ども・若者支援を推進するには、自立までの長い期間相談者に寄り添い、どのような支援を利用するのがよいかを提案できるような機能が求められる。

東三河セーフティネットはその機能を果たすために設立された。同じ東三河、蒲郡のみなさんも利用できます。——



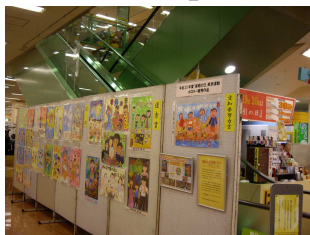
◆二月は「家庭の日」県民運動実施期間です◆

◆「家庭の日」啓発ポスター優秀作品展示会◆

市内小中学生を対象に募集した「家庭の日」啓発ポスターの優秀作品45点を展示します。ぜひご覧ください。

◆期間：2月9日(月)
～2月22日(日)

◆場所：アピタ蒲郡店1階



3月の補導予定

大塚班 13日(金) 18:00 大塚公民館
三谷班 20日(金) 18:00 三谷公民館
蒲郡班 未定(反省会)
中部班 13日(金) 17:30 西部小学校
塩津班 13日(金) 18:00 塩津公民館
形原班 6日(金) 19:00(反省会)
西浦班 6日(金) 17:20 西浦駅

よろしくお祈りします



◆編集後記◆ 毎月開催されている「あすなる親の会」に、不登校解決コンサルタントの菜花 俊(なばな さとし)様を講師にお迎えし、不登校解決勉強会が行われました。用意されたテキストを使われての話の中で、「不登校の本当の原因は、誰にもわからない」、勇気を持って「不登校の原因は、私にある。だから私が不登校を解決できる」と考えることが大切、さらに、「子どもが学校へ楽しく通えるようになるには、まず親が元気になって、次に子どもが元気になる必要がある」と訴えられました。参加された多くの保護者の皆さんから、大変参考になったとの声が聞かれました。